日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会

結成４周年集会 メッセージ

核兵器のない世界の実現や戦争のない平和な社会の実現は、全ての人々の願いです。

日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める皆さんの運動が、「核兵器のない世界」の実現への大きな歩みとなることを願っています。

令和７年９月28日

岩手県知事　達増拓也

メッセージ

この度、「核なき世界」に向けて更なる世論喚起を目指し、「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成四周年集会が開催されますことは、誠に意義深いものがあり、心から敬意を表します。

盛岡市は、市民共通の願いである、恒久平和の実現に向け、すべての国において核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く願い、非核平和都市であることを宣言しております。また、国境を越えて核兵器廃絶を求める「平和首長会議」にも加盟しております。

核兵器の恐ろしさや悲惨な戦争の教訓を風化させることなく、平和の尊さを未来に正しく引き継ぎ、核兵器廃絶と平和な社会の実現に向けて、努力をし続けていくことこそ、私たちの責務であると考えております。今後も原爆写真パネル展や平和学習のために被爆地である広島市への中学生派遣などの取り組みを続けてまいります。

結びに、関係各位の今後の取組に御期待申し上げますとともに、本日御参会の皆様の御健勝を祈念いたしまして、メッセージといたします。

令和七年九月二十八日

盛岡市長　内　舘　　茂

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成４周年集会

へのメッセージ

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成４周年集会の開催、誠におめでとうございます。核兵器のない世界を目指し、日々様々な活動に取り組んでおられる皆様に、深い敬意を表します。

昨年１２月、日本原水爆被害者団体協議会が長年の活動を評価され、ノーベル平和賞を受賞するという歴史的な出来事がありました。このことは、核兵器廃絶への運動を続ける皆様方の取組の意義を改めて示すものと感じております。

今、世界の様々な国や地域で、武力による侵略や紛争が生まれ、そして長期化している状況により、世界情勢が極めて不安定感を増しています。そして、そのような状況下にあるからこそ、人々の平和を希求する気持ちがこれまで以上に大きくなっていることを実感し、平和への意識を育む活動の重要性を改めて認識しております。

花巻市では、恒久平和の実現を目指し、平成１８年３月に「非核平和都市宣言」を行い、広島市への小学生派遣を含む「非核平和学習会」等を継続して実施するとともに、戦後８０年を迎えた本年は、花巻市博物館において「戦後８０年　戦争と花巻」を開催するなど、非核平和への意識を育む取組を続けているところであり、このような活動が核兵器廃絶に向けた動きにつながることを期待しております。

結びに皆様の活動がますます発展し、貴会の活動目的が果たされることを心からご祈念いたしまして、メッセージといたします。

令和７年９月

花巻市長　上　田　東　一

清秋の候、日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会の皆様をはじめ、御参会の皆様におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会結成４周年集会が開催されますことを、心よりお祝い申し上げますとともに、御案内いただき厚く御礼申し上げます。

本日は、用務のため、残念ながら伺うことができないことを御詫び申し上げます。

核なき世界の実現に向け、ご努力を続けておられることに深く敬意を表するとともに、日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会の御盛会と、御参会の皆様の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げます。

令和７年９月28日

日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会
代表　三田　健二郎　様

久慈市長　遠藤譲一

メッセージ

日本政府に核兵器禁止条約の
批准を求める岩手県民の会　様

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成４周年集会が、多くの賛同者の皆様により盛大に開催されますことに心からお祝い申し上げます。

世界の恒久平和は、人類共通の願いであります。

貴会の取組みに敬意を表するとともに、更なるご活躍をお祈り申し上げ、メッセージといたします。

令和７年９月１６日

宮古市長　中　村　尚　道

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成４周年集会が、核兵器廃絶を望む多くの方々の参加のもと開催されますことに心からの賛同と敬意を表します。

核兵器のない世界を実現するには、日本を含む国際社会が普遍的な人権と平和の価値を共有し、法の支配のもとで具体的な一歩を踏み出すことが不可欠です。貴会の活動は、国民の思いと地域の現実を結ぶ強い声となり、世界が核兵器廃絶の実現へ前進するための重要な力になると確信しています。

核兵器の廃絶は一国だけで実現できるものではなく、国と地域、そして世界が対話と協力を重ねてこそ現実味を帯びてくるものであり、本集会はそうした国際的連携の土台を強化する重要な役割を果たしております。

この集会を契機として、核兵器廃絶の理解が深められると共に、「核なき世界」の実現へ向けたさらなる一歩を踏み出せることを切に願っております。

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成４周年集会が開催目的を達成され、盛会のうちに終了できますことを心からお祈り申し上げます。

令和７年９月28日

岩手県矢巾町長　高　橋　昌　造

【「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」
賛同メッセージ】

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成４周年集会がここに開催されますことを心からお祝い申し上げますとともに、核兵器の禁止と恒久平和の実現に向け、日頃献身的に取り組みを進められている皆様方の活動に対し、心から敬意を表します。

核兵器禁止条約が 2021 年に発効されたにも関わらず、一部の国が「国の安全保障のため」と主張し保有する核兵器の脅威は、未だに人類の平和を脅かし続けています。イスラエルとイランの軍事緊張や長期化するロシアのウクライナの軍事侵攻など、世界では今も不安定な情勢が続いており、今からおよそ千年前に奥州藤原氏が希求した平和の精神がより一層重要視されているところであります。

我が国は唯一の被爆国であり、皆様の取り組みが、世界の先導役となりながら、「核兵器廃絶」に向けた大きな力となることは、いうまでもありません。

この結成４周年集会を契機に、真に平和を願う人々の思いが結集し、「核兵器のない世界の平和と安全」へ一歩でも近づけることができるよう祈念するとともに、本集会の成功と今後の皆様方のご活躍をご期待申し上げ、メッセージといたします。

令和７年９月２８日

平泉町長　青　木　幸　保

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成４周年集会が、多くの方々のご参加のもと、盛会に開催されますことを、心よりお喜び申し上げますとともに、開催にあたりご尽力されました関係者の皆様に、深く敬意を表します。

この集会を通じ、核兵器のない世界の実現に向け、一層の世論喚起が図られることをご祈念申し上げます。

洋野町長　岡　本　正　善